

平成31年度日本大学文理学部国文学科 AO入学試験

試験科目	受験番号	氏名	採点
文学・日本語学・書学			

[文学の課題]

古典あるいは近現代の日本文学について作品を一つ以上あげ、それが同時代あるいは後代の読み手にどのような影響を与えたと考えられるか、説明し、2000字程度で考えをまとめなさい。国文学科学生室、図書館、インターネットなどを使用してかまわないが、自分の参照した文献・資料と、自分の考えとを明確に分けて書くこと。また、参考にした図書やWebページなどを末尾にリストにして掲げなさい。課題作成にあたっては、【解答用紙（文学）】を使用すること（タテ書き・ヨコ書きどちらでも可）。また、参考文献のリストは字数に数えない。

[日本語学の課題]

以下の課題作成は、国文学科学生室で行ってください。学生室に配架されている資料や、学生室にあるパソコンはインターネット検索やweb文書の閲覧を含め、自由に使って構いません。ただし、課題作成は、誰かと相談することなく、自分一人で行ってください。下記の設問1～3を読み、自分の理解の範囲内で課題を作成してください。課題作成にあたっては、【解答用紙（日本語学）】を使用してください。解答用紙が表面で不足する場合は、裏面を使用してください。課題作成に必要な文具品は、学生室に置いてあるものを使って構いません。なお、課題作成方法やその内容についての質問は受け付けません。

設問1. 現代は、居住外国人や訪日外客の増加などに伴う多様化や、インターネットの普及に連動する情報化の著しい時代である。それらが言語や言語生活に影響を与える例を、(1)多様化と(2)情報化に分け、それぞれについて一つ以上三つまであげなさい。

設問2. 設問1で自身があげた例から一つを選び、言語や言語生活に与えた影響を具体的なデータに基づき説明しなさい。データは何を用いても構わないが、引用元を明示すること。引用元の明示方法は、自身の判断にゆだねる。どの例について説明するのか回答の冒頭で述べ、800字程度で説明すること。引用データとして図表などを用いる場合、それらは文字数に含まない。なお、図表は、自分で作成しても構わないし、印刷したものを切り貼りしても構いません。

設問3. 設問1と2を踏まえ、多様化・情報化に伴う日本社会に予測される言語や言語生活におけるより新しい変化について、あなた自身の考えを400字程度で述べなさい。

[書学の課題]

以下の課題①（創作）と課題②（臨書）の2作品を時間内に書きあげなさい。

課題①（創作）：「自主創造」の4文字を半紙1枚に創作しなさい。なお、書体・行数ともに自由とする。

課題②（臨書）：書道教室内の配架図書（書跡名品叢刊等）のなかで、あなたが好む古典作品1冊を選び、任意の箇所を半紙1枚に臨書しなさい。なお、行数・字数ともに自由とする。